

## まえがき

「地の時代」から「風の時代」に変わったと言われる2021年。世界中でそれを象徴するような出来事が起こっているように感じます。多くの情報が錯綜するなかで何を信頼してよいか、誰を信用してよいかわからなくて不安に感じている方も多いのではないのでしょうか。

私はかれこれ10年以上クリスタルヒーラーとしてご相談者さまと接しているなかで、自分が何をしたいのか、何を好きなのか、そんなことがわからない方が多くいらっしやるように感じました。

その原因として家族のため、会社のために生きるのが当たり前で、自分で考えることをしないほうがいい、自分の声を発しないほうが円滑になる、そんな社会のあり方が当たり前の時代だったというところからではないかと思いました。これは地の時代の典型的なあり方ではあったと思います。ただこれからの風の時代は個性を尊重する時代になってきます。そしてその個性がつながりあって何か大きなものを創り上げていくような時代です。

自分の意見を持たずに社会の言いなりになって生きてきた人々に、「あなたはこれからどうしたいの

ですか？」という問いが投げかけられることになるのです。本来その答えを出すときに一番信頼すべき相談相手は自分自身です。ただ、自分の好きがわからない方にとって、他の声を聞かずにその答えを出すというのは至難の業なのではないかと思えます。そんな方々に自分の感覚、声を取り戻すエネルギーと自分は信じるに値する人間だということを再認識していただきたくて、この本を書かせていただくことになりました。

私が言いたいことはとつてもシンプルです。ただただ「あなた自身に戻ってください」ということにそれに尽きます。誰一人、価値のない人間はいないのです。どんな方でもこの宇宙・地球にとってかけがえない美しい魂なのです。それを思い出していただけたくて私はセッションを続けてきました。この本の中でも私の言いたいことはそれに限るといつても過言ではないと思っています。

ただ、「あなた自身に戻ってください」と言われても「どうやって？」というのが素朴な疑問なのではないでしょうか。

“今、自分の好きがわからない”という方はどうしてそうなってしまったのか、そこを認識していただけなら、次への道筋が見えてくるのではないかと思います。そしてやっと、じゃあ、次はどうした

らいいのだろう” そんな疑問が出てきてまた自分に問い直す、そんなふうに一步一步進んでいけばいいのだと思うのです。

ただ変化には恐れがともないます。

誰でも行つたことのない場所、やつたことのないことをするのは怖いものです。それは人間の防衛本能で自分の身体を守つてくれるありがたい機能です。でもそれが過剰に働きすぎてしまうと身動きがとれなくなつてしまいます。そこで、これから進もうとしている新しい舞台は決して怖い場所でも、つらいところでもないんだと感じていただけるように、過剰な恐れを取り除けるようなお手伝いもできたらと思っています。

生きているとつらいこと、悲しいこともたくさんあるでしょう。でもその一つひとつの体験が私たちが生きるうえで貴重な糧となると私は信じています。人間に器のようなものがあるとしたら、体験のすべてはそれを大きくすることにつながります。

大きな器にはいろいろな物を入れることができます。さまざまな人を受け入れることができます。すべての体験は私たちの人間的な器を大きくするためのエネルギーなのです。

これからの風の時代は物質より、そのような目に見えない体験や体験から来る情報が重要になってくる時代です。毎日の体験はどんなものでもその一つひとつが宝物なのです。

この本を読んでいただいた方には、〃今までの自分の人生の体験で無駄なことは一つもなかったし、今がどんな状態だろうが自分は今の自分自身で十分。

これからはそんな自分に自信を持って他の誰かになろうとしなくてよいし、素の自分自身にこそ価値があるんだ”と、心の底から感じていただきたいと思っています。自分自身を生きていない人は宇宙から見ると大きな損失です。

私たち一人ひとりが宇宙というパズルを完成させるピースだとしたら、私は私のままのピースでいいないとパズルは完成しません。同じピースは2個いません。他のピースになろうとすることは永遠に完成しないパズルを作ることになります。

〃私たち一人ひとりが宇宙という美しいパズルを完成させるためのかけがえのない貴重なピースなんだ”と心の底から腑に落ちてほしいのです。

私は自分自身でいることに心から満足している方にはその周囲にもその美しいエネルギーを伝播さ

せる輝きとパワーがあると感じています。

自分自身が輝くことであなたの大切な人、家族、友人が輝くののだとしたらこんなに素晴らしいことはないのではないでしょうか。そして輝く人々が倍々で増えることで宇宙も倍々で輝いていきます。そしてその恩恵はいずれ私たちの元に戻ってくると信じています。

みんなで「風の時代」を満喫するために、この本があなたを輝かせるヒントとなり、後押しになればこんなにうれしいことはありません。